

# 阪急沿線 ちよい駅散歩

33駅目

## たからづかみなみぐち

宝塚南口  
(宝塚ホテル前)  
TAKARAZUKA-MINAMIGUCHI

さかせがわ  
SAKASE-GAWA

たからづか  
TAKARAZUKA

宝塚南口駅

所在地/宝塚市梅野町  
設置/1921年9月2日



かつては大果樹園が広がっていたという宝塚南口駅周辺。今では小さいながらも、宝塚駅と並ぶ宝塚歌劇の玄関口としてにぎわいを見せる。映画『阪急電車 片道15分の奇跡』のロケ地ともなったホテルが立つ街は、どこかノスタルジックな雰囲気が漂っていた。

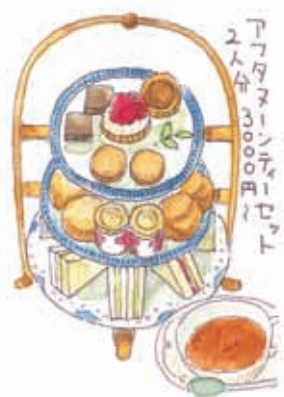
## 穏やかな時の流れを感じる街へ

### 宝塚ホテル

#### クラシックホテルで優雅にお茶を

駅前にホテルがオープンしたのは1926年。ファサードの切妻屋根、西洋建築特有の太い列柱に高い天井——。今も創業当時のままだという東館1階の階段に立てば、阪神間の名士たちが集まる社交場だった頃のざわめきが聞こえてきそう。そんな雰囲気を存分に味わうには、ティーラウンジでのアフタヌーンティーがおすすめ。鼻腔をくすぐる紅茶の香りと、目にも鮮やかなプティ・フルで優雅なティータイムはいかが。

●【ティーラウンジ ルネサンス】8:00~18:00(土・日曜・祝日は~19:00)/無休/☎0797・87・1151(代表)



会堂当時から変わらない東館の階段。洋装で来館してもらうために、段は高めで作られた。

### ダブルデイ 宝塚店

#### 長い時間が育んだ美しきモノたち

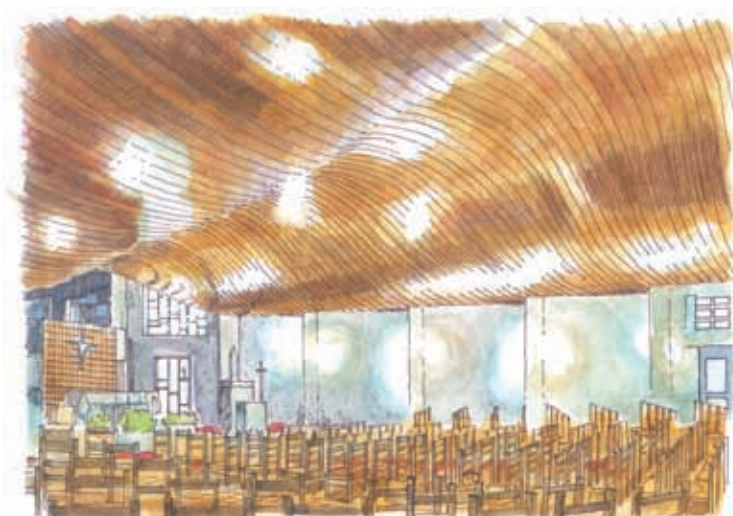
英国から買い付けた1920~60年代のアンティーク家具を中心に、落ち着いた味わいの雑貨がそろそろ。ピロード張りソファの横に手回しミシンを配置するなど、ライフスタイルを想像させるディスプレイは眺めているだけでも楽しい。同じデザインの商品でも、一つひとつ表情が違うのがアンティークの魅力。じっくり見比べて、自分だけの逸品を見つけて。

●11:00~19:00/不定休/☎0797・73・8630



### 夢へと続く橋——宝塚大橋

電車が鉄橋を渡ると宝塚音楽学校のおとぎの国のような建物が見えてくる——。小説『阪急電車』にそう記された建物は、駅のすぐ北、武庫川にかかる宝塚大橋のたもとにある。南には生徒たちが住まう寮があることから、朝夕にはグレーの制服に身を包んだ生徒とすれ違うことも少なくない。明日のスターを夢見て、未来のタカラジェンヌが今日も橋を渡る。



### カトリック宝塚教会

#### 刻々と姿を変える光に心癒やされて

日生劇場などの設計で知られる村野藤吾氏が手がけた教会は、大洋を漂い続けていた白鯨が、安住の地を見つけ岸辺に打ち上げられた様子をイメージしたものとか。聖堂の中は壁のスリットから差し込む光が柔らかく空間を包み、復活祭を控えた春分の日の頃にはその光がちょうど祭壇のキリスト像に集まるように設計されているのだという。まるで有機物のようなうねりをみせる天井と、それとは対照的に整然と並ぶ椅子。そっと腰を下ろして、心安らかな時間を過ごしたい。

●見学可能時間9:00~17:00(日曜は~13:00)/☎0797・72・4628

